

第34回旭川市民劇場賞は、  
劇団民藝『送り火』に決定、総  
会で発表されました。

会員証の投票用紙でお寄せいただいた、旭川市民劇場賞推薦作品の感想や1年間の例会の感想をご紹介します。

# 2020 私の 市民劇場賞

2月例会 てがみ座

「爆々」

●斜めに在る道。セットの妙。役者の個性と芸道への執念と。

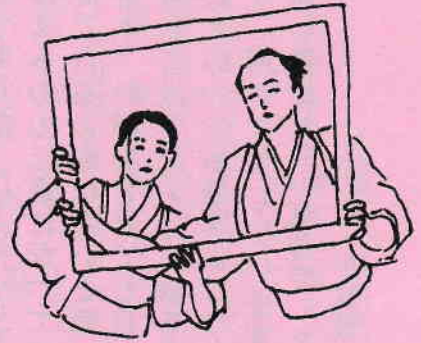
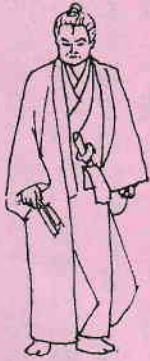
●担当した例会だった。

4月例会 こまつ座

「イヌの仇討」

●コロナ禍の中、皆様ありがとうございました！

●閉塞感とか息のしづらさに



も、人間は慣れてしまうのだ  
などと思う。物量としては圧倒  
的に多数のコロナ患者が出て  
いても、「未知のウイルス」の  
恐怖にざわついた今年のはじ  
めより、人々はずっと落つい  
ているように思う。苦しかつ  
た今年の上旬、吉良邸味噌蔵  
にさし込んでいた光が、まる  
で風景のように忘れられない。

8月例会 加藤健一事務所

「煙が目にしみる」

●久しぶりの例会。カトケン  
さんのおばあちゃんも良かつ  
たです。

●楽しく過ごさせて頂きまし  
た。コロナで色々大変だった  
でしょうが、一年間劇を見せ  
て頂きありがとうございました。

●笑いの中に、しみじみとし  
た情を感じさせてくれたこと。

●「時代」の歌にも感動！

●今年ほどの例会も見応えが

あり、選ぶのに迷いました。  
四月・十月の例会もとても良  
かったです。

●六本観劇できた！その事が  
嬉しい。

●忙しい日々の中で、市民劇  
場の観劇が非日常の貴重な時  
間になっています。自分の人  
生を重ねて考えさせられたり、  
思い切り笑ったり、役者のす  
ばらしい演技に心を揺さぶら  
れたり…。今後も続けていた  
だきたいです。



準備する方も、例年以上に心が疲れる年でした。でも、毎回楽しく見させていただきました。ありがとうございます。  
●大変な一年でした。事務局のご苦勞が特に。明年は何事もない様に…。



10月例会 劇団民藝

「送り火」

●イヌの仇討は舞台とお芝居もまあまあ、煙が目にしみるは、間が空いていたせいかな、ラストの歌とで感動。送り火は、舞台も懐かしく、お芝居も静

かな中に考え深い内容でした。六本見てやはり十月が全体によかった。

●日色さんの照さんがかわいらしかったです。

●毎回演者さんたちからエネルギーをいただき、感謝しています。

●静かな流れの中で日色さんの演技がステキでした。

●どれも素晴らしかったけれど、日色さんの静かで力強い姿が印象的でした。

●演劇の奥行きと深さを感じました。

●たった一日の出来事なのに、過去と現在を行き来する、幻想的な物語にひきこまれました。

●しつとりと心に響く演劇でした。

●日色さんの声の美しさが印象的でした。

●なんと言っても、日色とも糸の演技力がすばらしかった。

戦争というもののむごさ・悲慘さを伝えようとする脚本だったが、それも日色とも糸という名優がいたから形象化できたのだと思う。



11月例会 前進座

「ついでに」

●メッセージが明快。独特な演劇空間、四人での語り、芝居的な動きが魅力的だった。

●十二月もとても良かった。

●この状況で全ての例会を実施してくれた事務局・幹事の皆様に感謝します。毎回楽しみにしていました。

●個性豊かな人間が共存できることの幸いを思いました。

12月例会 テアトル・エコー 「八月の人魚たち」

●最後に見たえんげきが、一番面白かったです。

●今年度は見ることができた例会が少なくなってしまう。最後は、来ることができて良かったです。来年度はもっとたくさん参加したいと思います。

●自分らしく生きる姿が良かったです。

●最高に良かったです。すばらしかったです!!

